

フードロス削減分科会

構成メンバー(10者)

味の素(株) (株)埼玉りそな銀行
イオンモール(株) (株)学研スタディエ
(株)大泉工場
(NPO法人)つどいの会(騎西子育て応援フードパントリー)
Heartsong (福)平野の里
和光市チームSDGs 埼玉大学
埼玉県資源循環推進課

発表者:味の素(株)

<1>

部会における背景・課題等について

1. 背景

- ・日本のフードロスの状況（廃棄量）
※フードロス＝「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」

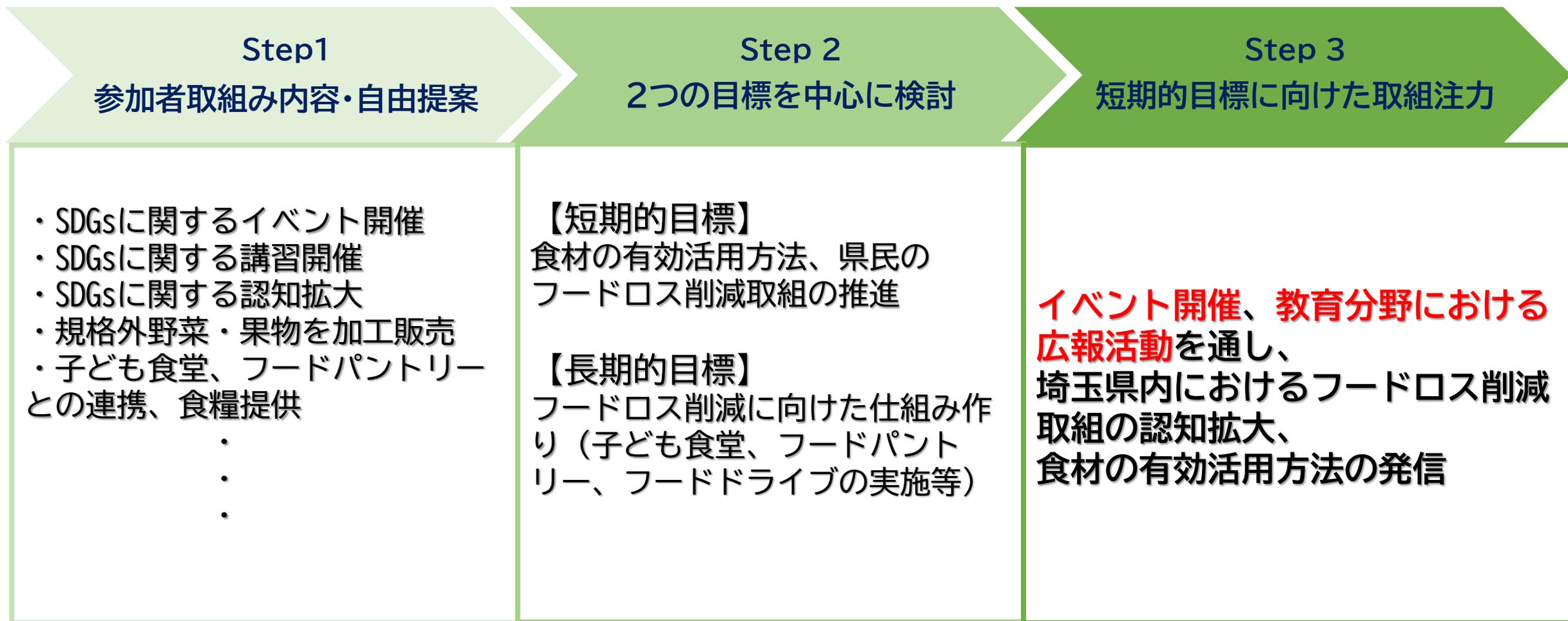
2. 目的

- ・埼玉県内の企業・団体（小売業・外食企業・農家・食品メーカー・行政・教育機関等）と共に「食品の有効活用」を促進・推進することで、フードロスの削減を目指すこと

3. 課題

- ・フードロス削減を実施するインセンティブ、メリットがあまり認識されていないこと
- ・フードロス削減の取組を生活者に発信、促進しきれていないこと
- ・一社、一組織単独での活動内容が限られていること

メンバーからの意見・アイデア等について



部会で検討した事業・取組等について

1. イベント開催（認知拡大）

→県内各イオンモールにてサイネージ放映※を実施（予定）

※サイネージ保有施設のみ

埼玉県 × 味の素(株) × 分科会メンバー

2. 教育分野における広報活動

→子どもたちへの食育を目的にコラボイベントを実施中

学研スタディエ × Heartsong

部会で検討した事業・取組等について

【フードロス削減に関する広報活動】

- ・ 時期：3月（予定）
- ・ 場所：県内各イオンモール ※サイネージ保有施設のみ
- ・ 概要：施設内に設置されているサイネージを活用
フードロス削減の啓発動画を公開



余りやすい食品を活用したレシピを紹介
(提供元：味の素(株))



フードロス削減啓発動画
(提供元：九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会)



サイネージ (案)



フードロス削減分科会

<5>



部会で検討した事業・取組等について

【2023春 食品ロスについての標語をつくろう】

- ・ 時期：3月1日（水）予定
- ・ 場所：学研スタディエ 各教室
- ・ 概要：
 - 小学生を対象に、フードロス問題について学び、標語をつくるイベントを開催
 - ハートソング作成の家庭用コンポストを優秀賞としてプレゼント
 - 家庭内生ごみの有効活用を促進



本分野における今後の展開について

- 【短期的目標】 食材の有効活用方法、県民のフードロス削減取組の推進
- 【長期的目標】 フードロス削減に向けた仕組み作り

Step 1 認知拡大・行動促進

【2022年～2023年】

- ・ フードロスに関するイベント、講習の開催を通して、県民のフードロス削減取組みの促進（身近な単発行動から）
- ・ 企業・法人間の繋がり、フードロス削減共同取組み促進

Step 2 継続・定着

【2023年～2025年】

- ・ 継続的な食材の有効活用方法、フードロスに関するイベントを通して、県民のフードロス削減取組の継続を促進
- ・ 企業・法人間の参画促進

Step 3 フードロス減少取組みの 定着

【2025年以降】

- ・ 県民、企業、法人間においてフードロス削減取組みが当たり前に根付いた社会の促進